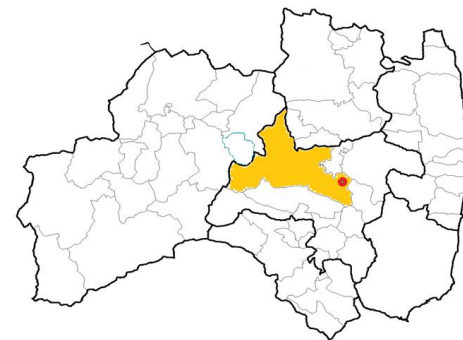


第1回 県立高等学校改革懇談会 『安積高等学校御舘校』



日時：令和元年 6月 4日 (火) 14:00 ~ 15:30

場所：安積高等学校御舘校

福島県教育委員会

本日の進め方

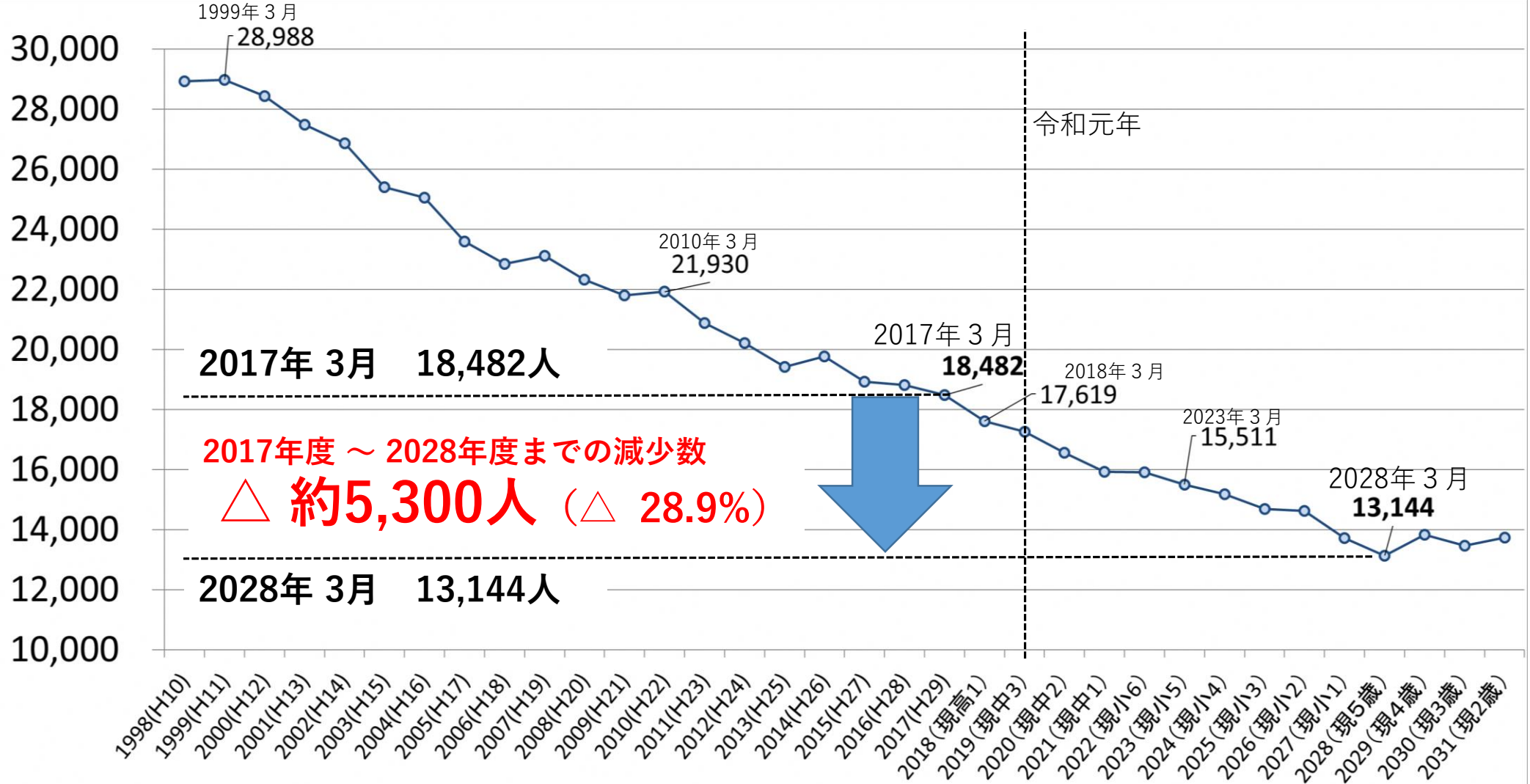
1	県立高等学校前期実施計画策定の経緯
2	安積高校御館校の現在の状況
3	今後の進め方について

1

県立高等学校前期実施計画策定の経緯

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

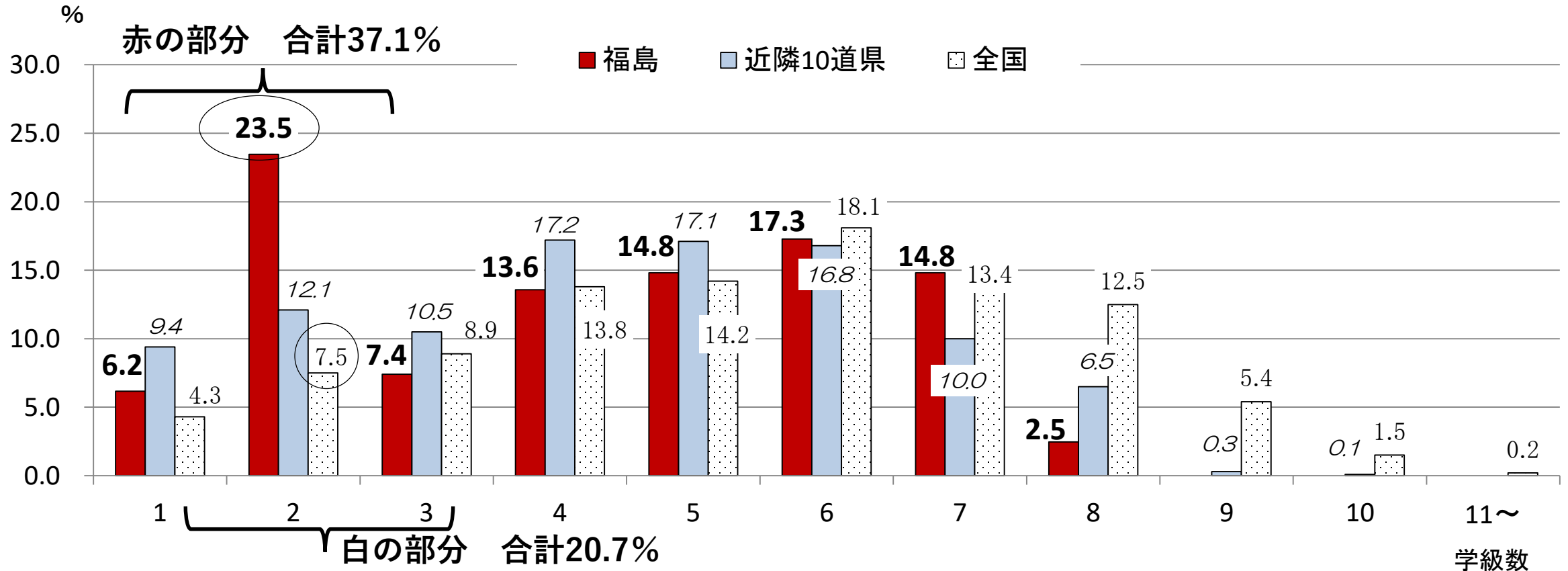


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
 分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日制課程の募集定員。近隣
 10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**
(中学校卒業予定者数が10年間で約5,300名減少)
- 過疎化・高齢化
(地域コミュニティの維持が課題)
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化
(例：主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入)
- **高等学校の小規模化**
(3学級規模以下の高校の増加)
- 生徒の学習ニーズの多様化
(学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化)
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生
(本県の復興に関わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進)



高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 2018年 5月
(2019年度～2028年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針 1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進

基本方針 2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針 3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

基本方針 4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の向上

再編整備・特色化の基本的な考え方①

- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**
1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて**統合・募集停止を推進**
- **望ましい学校規模への再編整備の推進**
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

再編整備・特色化の基本的な考え方②

- 進路に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

職業教育推進校

地域協働推進校

定時制・通信制高校

2

安積高校御館校の現在の状況

小規模校のメリット・デメリット

【メリット】

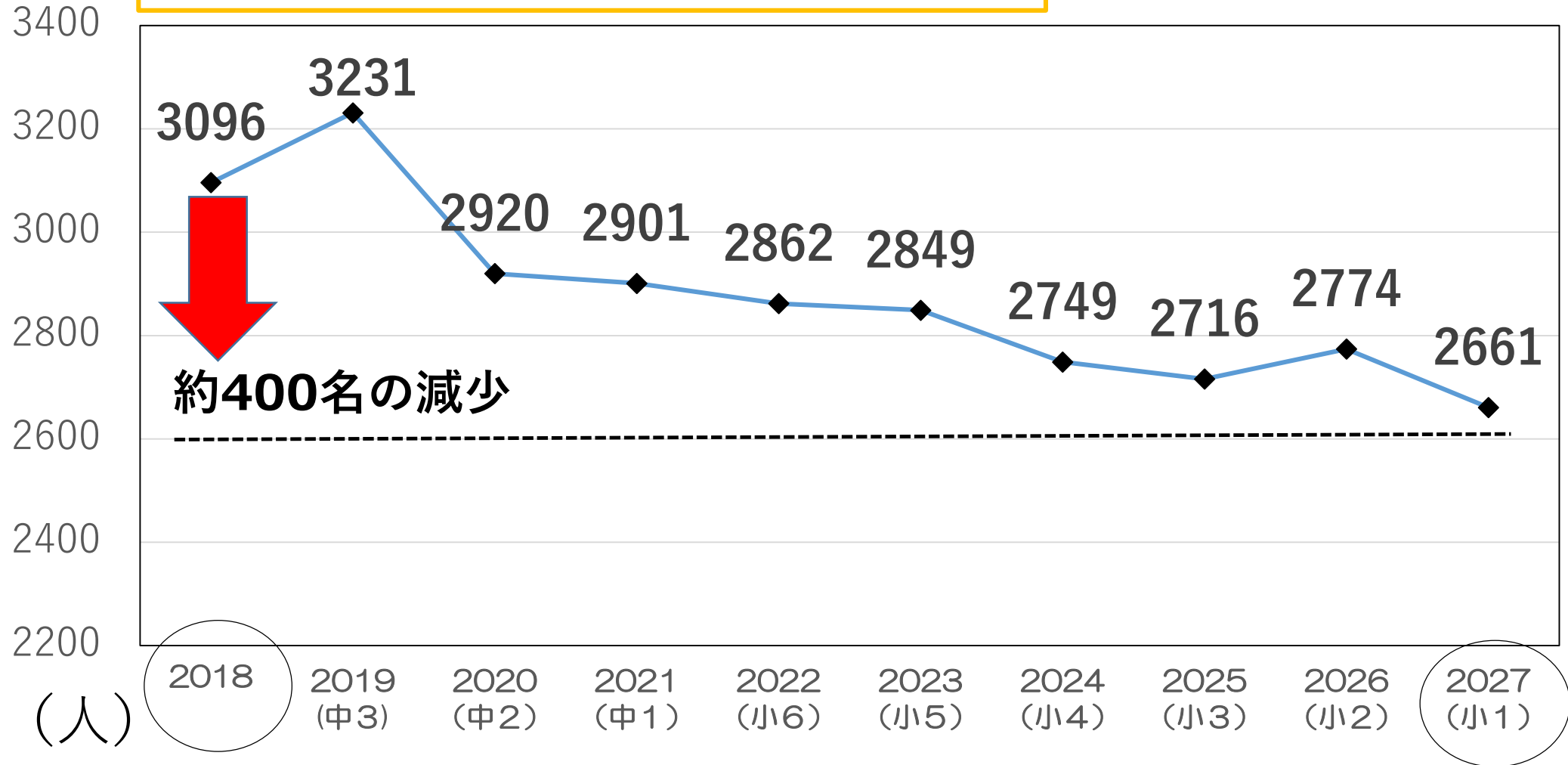
- 学校がある地域の生徒が、負担なく通学できる。
- 小規模校ならではの、きめ細かな指導が可能である。

【デメリット】

- 生徒どうしが、切磋琢磨しながら社会性や向上心を育むことが難しい。
- 学級数減に伴う教職員数の減少により、多様な科目選択や部活動など学校の教育活動が制限される。

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

◆郡山市の中学校卒業見込者数推移



○ 沿革（創立71周年）

- 昭和23年06月 福島県立田村高等学校御館分校として設立認可 定時制農業科、家庭科（別科）
- 昭和26年04月 定時制普通科、家庭科設置
- 昭和38年04月 家庭科を家政科と改称
- 昭和42年04月 福島県立安積高等学校御館分校と校名変更
- 昭和48年04月 全日制普通科（1学級）設置、定時制農業科、家庭科募集停止
- 昭和55年04月 校舎、現在地へ移転
- 平成10年11月 創立50周年記念式典
- 平成20年04月 福島県立安積高等学校御館校と校名変更

○ 設置学科（平成30年度現在）

全日制 普通科 1学年1学級

○ 面積

校地 **56,656m²**

(校舎敷地 運動場 25,744m² + 演習林 30,912m²)

進路状況（過去3年間）

学校要覧より

【安積高校御館校】

進路先	卒業生数	進学	就職	就職者内訳				
卒業年度				製造	卸小売	通信運輸	サービス	その他
30	19	10	9	6	1	0	0	1
29	21	4	17	5	4	0	4	4
28	17	3	14	4	2	0	4	4

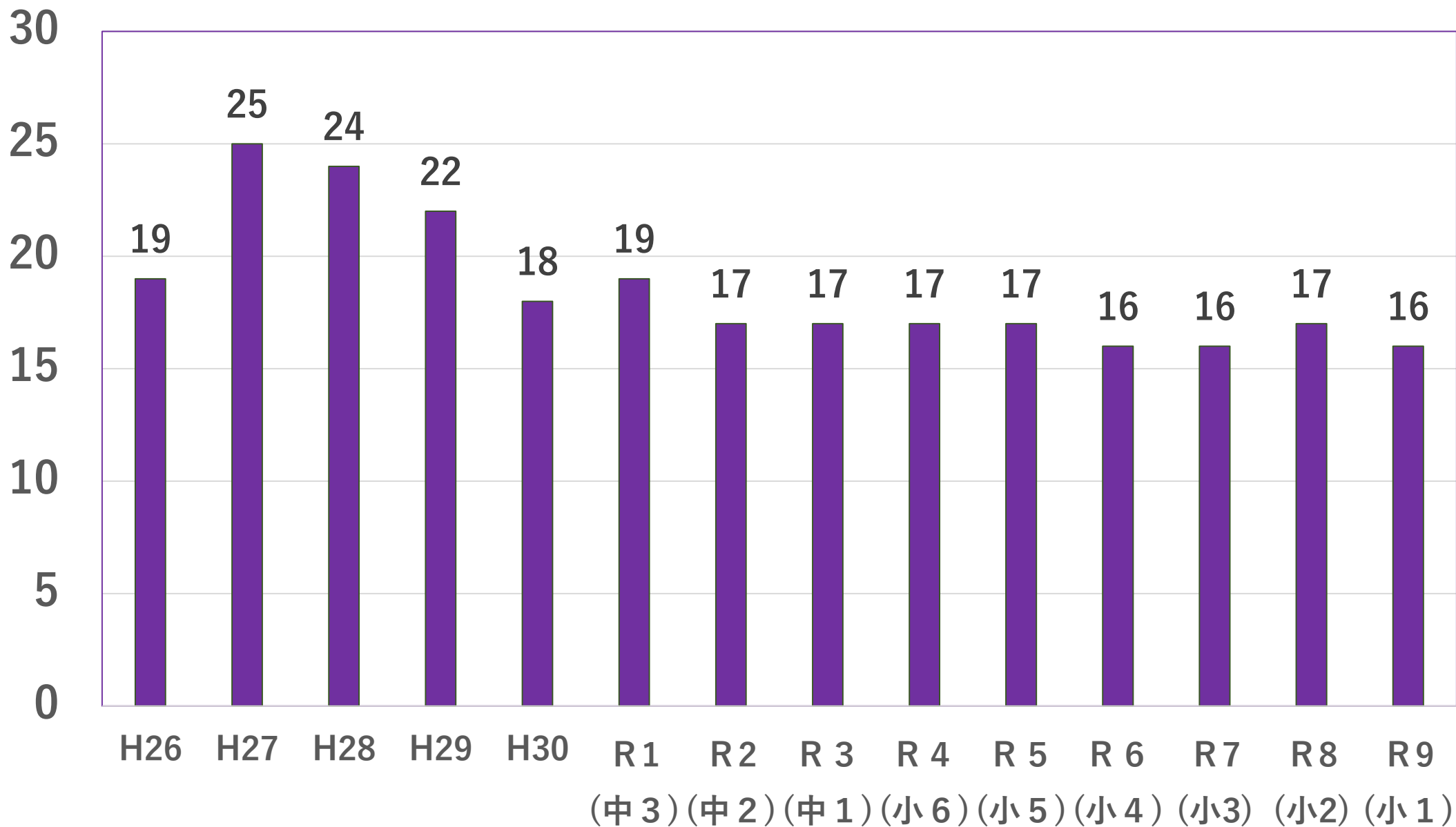
入学状況

安積高校御舘校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
募集定員	40													
入学者数	33	40	34	37	39	31	30	31	19	25	24	22	18	11
充足率 (%)	82.5	100	85.0	92.5	97.5	77.5	75.0	77.5	47.5	62.5	60.0	<u>55.0</u>	<u>45.0</u>	<u>27.5</u>

安積高校御館校入学者見込者数の推移

安積高校御館校入学者数実績及び見込み
(人)



平成30年度安積高等学校御館校の地元中学校卒業者の高校進学先

	卒業生数	進学者数	公立高校進学						私立高校 進学	その他	
			御館校	その他 郡山市	須賀川市	鏡石町	三春町	その他			
御館中	24	23	1	8	1	2	2	3	5	1	
宮城中	14	14	1	4	4	1	1	0	2	1	
緑が丘中	131	125	3	69	13	1	5	1	29	4	
二瀬中	8	8	0	3	3	0	0	0	2	0	
高瀬中	46	45	2	17	7	0	0	0	19	0	
計	223	215	7	101	28	4	8	4	57	6	
進学者数に対する割合	$\frac{7}{215}$		$\frac{7}{215} \rightarrow$	3.3%	47%	13%	1.9%	3.7%	1.9%	26.5%	2.8%

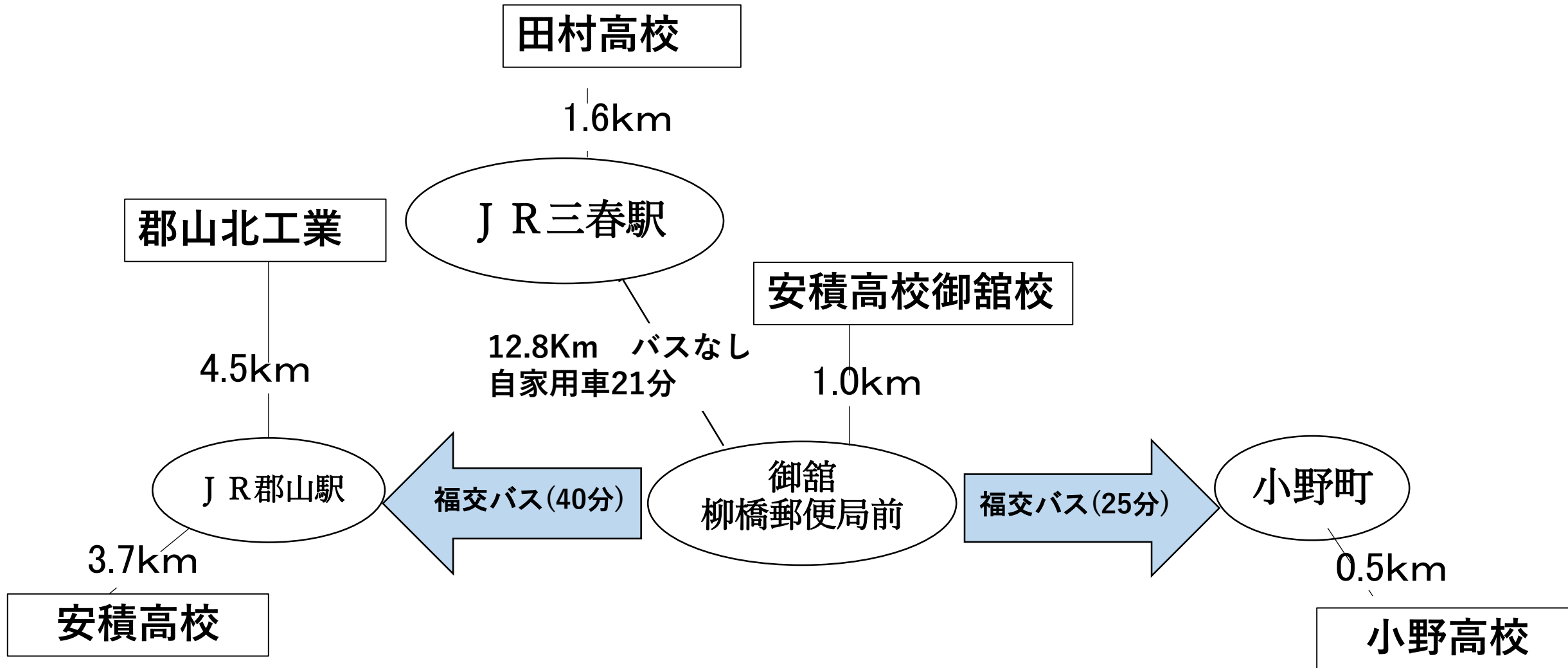
周辺中学校の高校進学先（H30年度一部抜粋）

		進学先高校									
		安積	御館校	安積黎明	郡山東	郡山商業	郡山北工業	須賀川	岩瀬農業	田村	小野
周辺中学校	御館中		1	1	1	1	2	1	2	2	3
	宮城中		1	2		2			1	1	
	緑が丘中	10	3	6	12	11	11	3	1	5	
	二瀬中	1			1	1		2			
	高瀬中	4	2	1	3		6				

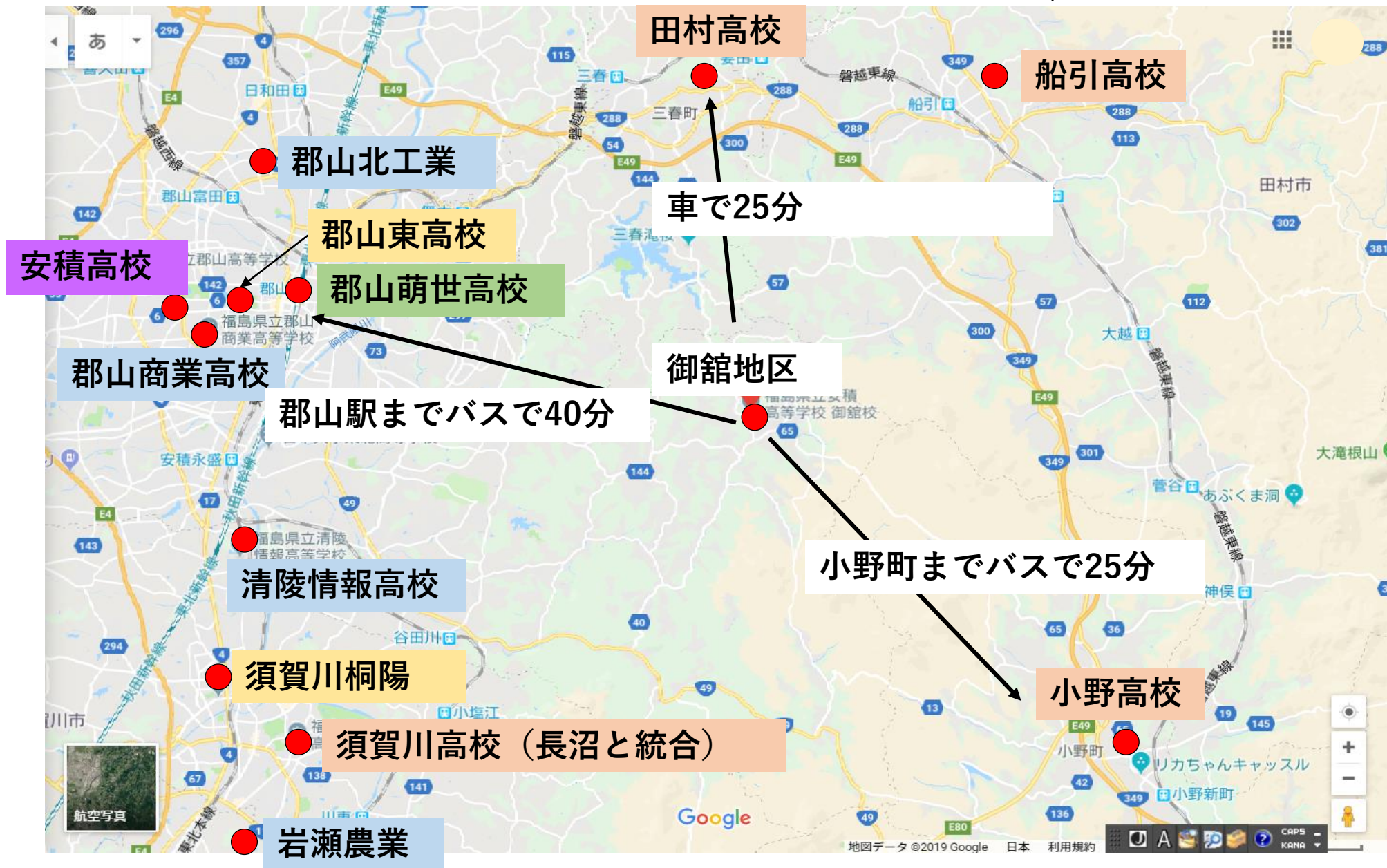
安積高校御館校周辺の各学校の規模（H30年度）



通学に関して



安積高校御館校周辺の各学校の規模（H30年度）



3

今後の進め方について

今後の改革懇談会の進め方（案）

